

2025年6月19日（木）

テーマ 里山を冒険しよう

けやき組 27名

自然体験の専門家と過ごす中で、身近な自然の中に新たな視点・発見があることを知り、共に過ごす仲間と関わり合いながら洞察を深めます。今回はバスに乗って、里山に出かけました。山でのルールを学びつつ、里山でしかできない遊びを体験します。

活動のために準備した素材や道具

水筒、着替え、救急セット、タオル、カメラ、携帯電話、ipad（記録用）

活動の内容

9:00 園出発（バスの中でルール確認）

9:15 里山入口到着 徒歩で移動

9:20 準備運動

be natureの森さん、しんじさんにご挨拶。

山での約束を聞く。見えないところに行かない。戻って来てと言ったら集まる、など。

9:30 冒険開始、山道を上り広場（小野路城址）へ。自由遊び。

10:05 広場で遊ぶチームと冒険チームに分かれる。

11:00 広場に全員集合、山を下る。

11:30 バス乗車、帰園



「みんなでバス乗るの初めてだね！」「だんだん葉っぱが増えてきたね」と気持ちを膨らませながら向かっていきます。

バスを降りて少し進むと、自然溢れる里山の景色が広がります。「うわーいいところ！」「オタマジャクシがいる！」「トンボが飛んでるよ」と生き物との出会いが溢れていました。

Be natureのしんじさんと準備運動。「バナナ！」のかけ声でバナナに変身して大笑い。体も気持ちもほぐれていよいよ山へ出発します。

山の上の広場に到着すると、早速現れたのは急な坂道。「こうやっておりてごらん」と講師の森さんが勢いよく駆け降りると、「僕も！」と子どもたち一人ずつ駆け下りていきます。「ああ面白かった」「がんばれー」「タタタっていくと怖くないよ」と、坂を降りた後はこれからおりていく友達に声をかけて応援する姿もありました。

その後広場から先に探検に行くと、神社があったり小町井戸という井戸があり、「さっき来た道だね」「さっき見た神社だ！」周りを見渡しながらかくことで気づいていく人もいました。

保育者の気づき

初めての里山での自然体験。暑さもある中で心配しましたが、森の中は少し涼しく、子どもたちとじっくり過ごすことができました。山道は険しかったですが、子どもたちは動物の遠吠えの真似をしながら楽しみながら歩き、頂上についた時には達成感いっぱいの表情をしていました。夏の始まり、草木が勢いよく茂る森の中で、虫と出会ったり、友達と道を確かめ合いながら歩き、自然をたっぷり感じることができました。

とうきょうすくわくプログラム

